PRESS RELEASE 2025/4/21

報道関係者　各位

NPO法人 放送批評懇談会

発表！2025 年 3 月度ギャラクシー賞月間賞

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで 62 年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申しあげます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2025 年 6 月上旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963 年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。放送の専門誌・月刊「GALAC（ぎゃらく）」の編集・発行、優れた番組・CM を顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（https://houkon.jp/galaxy-database/）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

Facebook　X（旧Twitter）　Instagram

＜お問い合わせ先＞
ＮＰＯ法人 放送批評懇談会
MAIL：kondankai@houkon.jp
HP：https://www.houkon.jp/

PRESS RELEASE 2025/4/21

NPO法人 放送批評懇談会

2025年3月度ギャラクシー賞月間賞

夜ドラ「バニラな毎日」

1月20日～3月13日放送　22：45～23：00　日本放送協会

蓮佛美沙子と永作博美のキャスティングが見事にハマっていた。2人の掛け合いが何より魅力的で、舞台として見たいとさえ感じたほど。「お菓子作りと再生」ともいうべきテーマについて前半と後半で変化を持たせて描いたことで、物語に深みが生まれた。木戸大聖の存在感も光った。

ＮＨＫスペシャル「創られた“真実”　ディープフェイクの時代」

3月18日放送　22：00～23：15　日本放送協会　パオネットワーク　ＮＨＫエンタープライズ

ＳＮＳの隆盛、日進月歩の生成ＡＩ技術進化のなかで、極めて深刻なディープフェイクによる犯罪事件が多発している。驚くほどに精密な偽動画による詐欺やフェイクポルノなど、誰もが被害者となりうる事件実例を踏まえ、迫力あるドラマ仕立てでその脅威、危険にしっかりと警鐘を鳴らした。この凄まじい情報環境変容に法規制は追いつけるのか。

日曜劇場「御上先生」

1月19日～3月23日放送　21：00～21：53　ＴＢＳテレビ

名門私立高校への裏口入学をめぐり、政治家、官僚の間の取引の解明をベースに、教科書検定、子どもの貧困、生理など今日的な問題も題材に、現在の教育を扱ったドラマ。とても見応えがあった。答えのない問いを考え続けることの大切さ。最後の結論についても、核心をつくポイントをわかりやすく提示。見事な脚本、キャストだった。

伊集院光の偏愛博物館

3月16日、22日、29日放送　11：00～11：30　11：30～12：00　14：00～14：30
14：30～15：00　23：00～23：30　23：30～24：00　ＢＳ-ＴＢＳ

何かを愛しすぎてしまった結果、つくられた私設博物館に伊集院光が訪問。“好奇心のバケモノ”であり知識の紐づけの達人でもある彼は、館長から話をじっくり引き出し、そのスゴさを“翻訳”してくれる。「博物館は広さじゃなくて移動のスピード」で価値が測られるという伊集院自身の言葉を体現したようなＢＳならではの番組だった。

★詳報は月刊誌「GALAC」2025年6月号に掲載します